

# コネクタエリア浜松の取組みについて

平成31年 1月30日

中日本高速道路株式会社



# 1. 中継物流拠点『コネクティア浜松』 事業概要



## ■ 事業内容

新東名高速道路浜松サービスエリアに中継物流拠点を整備し、物流事業者の中継輸送の促進を図ることにより、もってトラックドライバーの労働環境改善および働き方改革を支援するもの

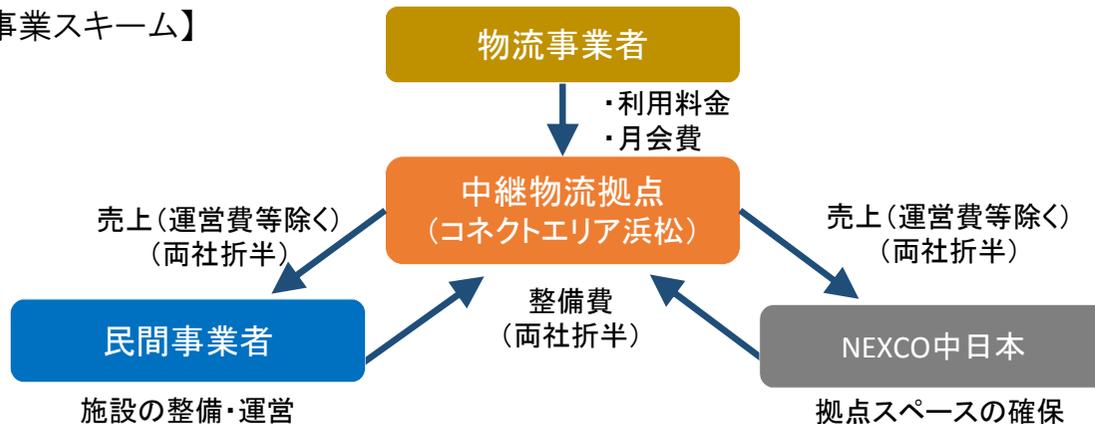
## ■ 事業概要

1. 名称 コネクティア浜松 (CA浜松)
2. 場所 新東名高速道路 浜松SA(下り線)隣接地
3. 事業開始 2018年9月12日(水)
4. 整備内容 敷地面積約8,000㎡、駐車マス30台(予備2台)
5. 事業主体 NEXCO中日本・遠州トラック(株)

## ■ 中継物流拠点のニーズ

- ① 拘束時間の削減および日帰り運行の実現可能な立地  
⇒ 浜松SAは、東京(東京IC)、大阪(吹田IC)から約3時間の距離にあり、「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」(厚生労働省)で定める連続運転時間4時間を考慮すると中継輸送に最適な立地
- ② 高速道路至近かつ上下線からの車両がアクセス可能およびトラクタ交換も可能な施設  
⇒ 浜松SAスマートIC直近で、トラクタ交換可能なスペースを確保

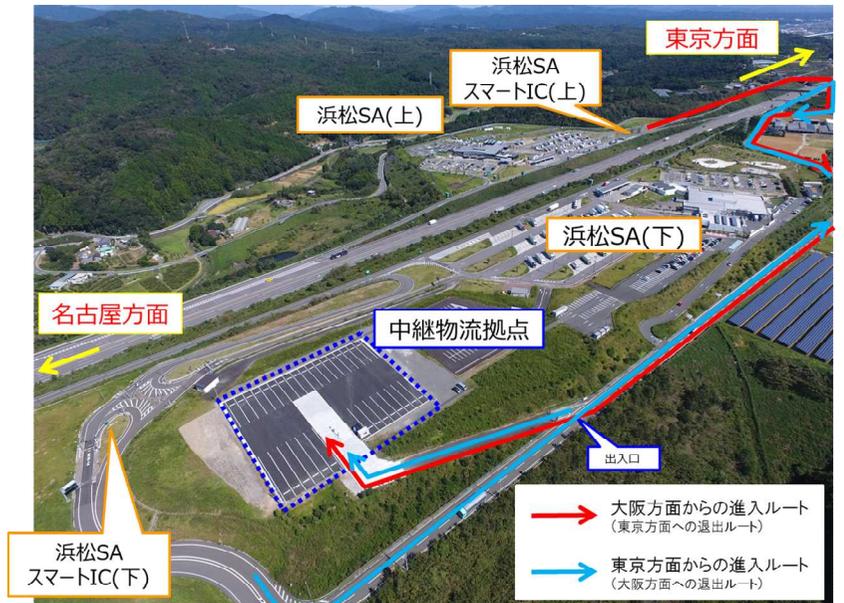
## 【事業スキーム】



【位置図】



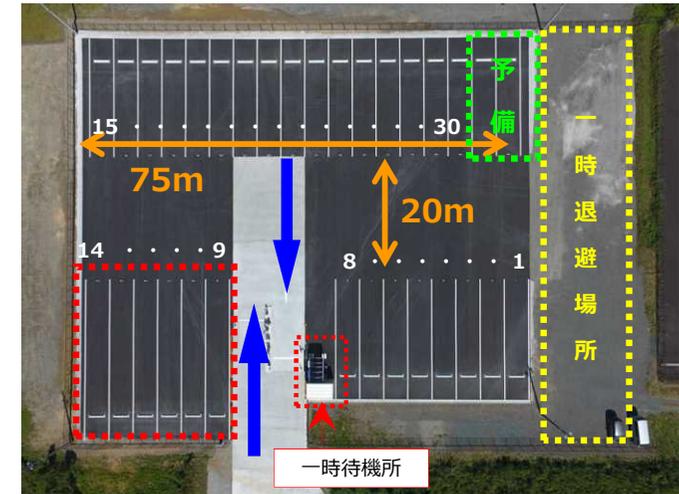
【中継物流拠点の経路】



## 2. 施設概要

### 【中継物流拠点整備のポイント】

- ✓ 専用の予約システムや非接触ICカードによる自動開閉入退場システムにより、入退出時の操作を簡便化  
(ICカード所持により自動で開閉バーが作動)
- ✓ 施設内の待機所の利用のほか、隣接する浜松SA内の施設(シャワー等)の活用も考慮。
- ✓ 会社敷地の未利用地を活用



バスNo.9~14  
全長：26m

バスNo.1~8,15~30  
全長：20m



駐車場全景



自動開閉入退場システム

非接触ICカードをカードリーダー(赤枠部にアンテナ内蔵)に向けるとゲートが開閉  
(車両内に置くだけで感知可能)



一時待機所

一時待機所と自動販売機

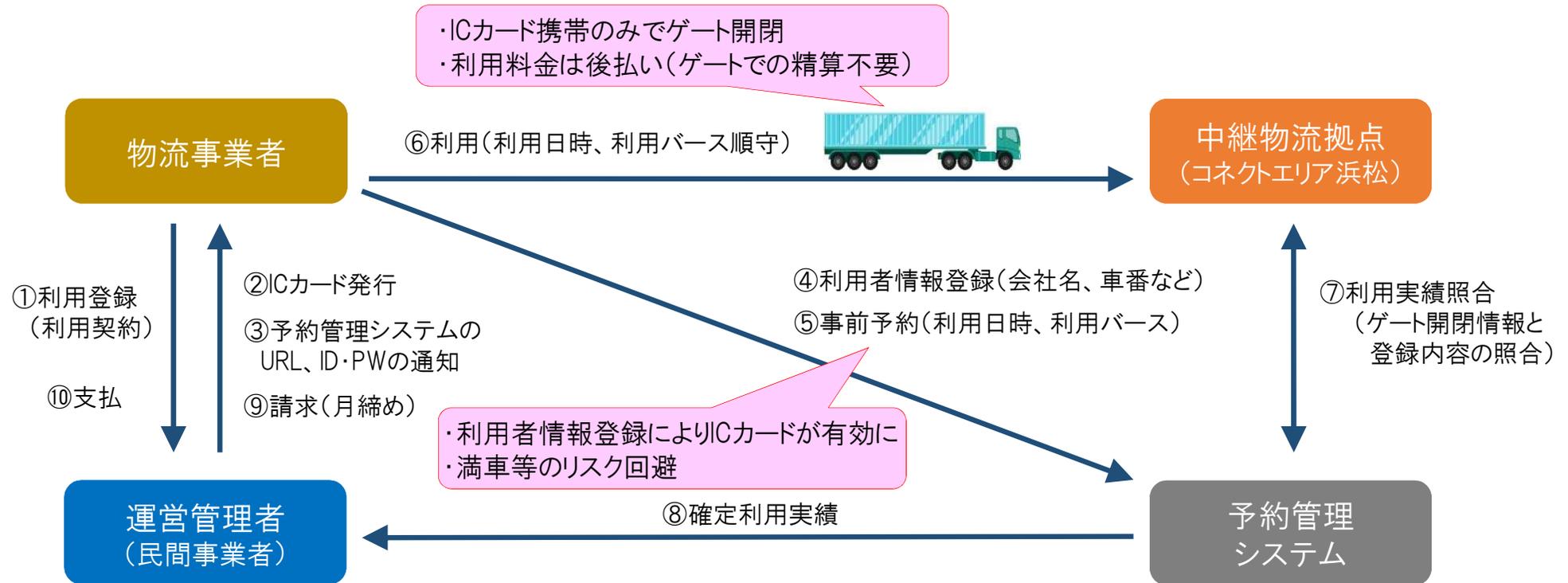


一時待機所内観

# 3. 利用方法および利用料金

## ■利用方法

- ①利用契約・登録 事前に利用契約を締結し、登録車両台数分の利用登録カードを発行
- ②事前予約 専用の予約管理システムから利用日・利用時間帯を予約（利用時間は1回あたり1.5時間）
- ③利用 予約日・利用時間帯に、利用登録カードにより利用（カードによるゲート開閉管理）
- ④精算 利用料金、月会費は月締め・翌月末払いとし、登録会社へ全車両分一括して請求



## ■利用料金

- 利用料金 600円(税別)/台・回 ※1回あたり1.5時間利用
- 月会費 4,000円(税別)/台・月(登録台数6台まで)
- 2,000円(税別)/台・月(登録台数7台以上14台まで)
- 1,000円(税別)/台・月(登録台数15台以上)

※利用には、1回あたりの利用料金のほか月会費が必要

# 4. 運用・稼働イメージと期待される効果

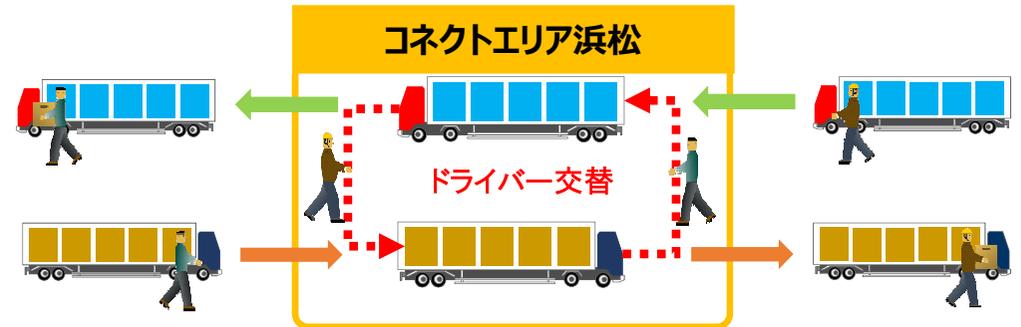
## ■ 中継物流拠点における運用イメージ

### トレーラー・トラクタ交換方式の場合



中継拠点にて、トラクタの交換を実施

### ドライバー交替方式の場合



中継拠点にて、ドライバー交替を実施

## ■ 車両の稼働イメージと拘束時間

① 関西⇄関東間の往復運行の場合(従来の運行) ※1往復:3日間の行程の場合



② コネクタエリア浜松利用の場合(新しい運行) ※定型・日帰り運行の場合



### 【期待される効果】

① 拘束時間の削減および日帰り運行の実現による労働環境改善

⇒従来の運行では、一例として一運行3日間の行程となり車中泊や休憩、荷待ち待機を含む拘束時間は57時間に及ぶが、中継輸送により日帰り運行が可能となり、拘束時間は12時間と大幅に労働時間が削減される

② 稼働率の向上

⇒関西・関東それぞれから車両1台ずつで運行する場合、従来3日間の輸送量が4輸送であったものが、日帰り運行実現で6輸送となり、理論上、車両の稼働率向上が期待される

# 5. 利用状況

## ■ 契約および利用状況

・ 契約台数 4社 35台

・ 問合せ社数 20社

※2019年1月15日時点

### < 月別利用台数 >

2018.10 試行運行期間

2018.11 130台

2018.12 172台

会社名	契約台数	発着①	発着②	CA浜松利用時間帯	利用頻度(予定)	利用台数/日	利用形態
A社	10	大阪	埼玉	0時～1時半	毎日	4～6台	トラクタ交換
B社	15	東京	大阪	0時～2時 20時～22時	毎日	4台	ドライバー交替
C社	8	東京	兵庫	2時～3時	平日毎日	2台	トラクタ交換
D社	2	埼玉	大阪	確認中	週末	2台	トラクタ交換

### 【物流事業者所感】

- ・ 働き手が来たがらない要因の一つの長距離運行から、毎日帰宅できる環境に変える意味において良い取組み。
- ・ 確実に停車できること、駐車マスも広い為、ストレスが無い。
- ・ 本施設の開業にあたり中継を行っていた車両すべての切替えを実施した(2018.11～)
- ・ 現在利用中の浜松トラックステーション利用分を切り替えを検討していく



トラクタ交換の様子